

和歌山縣報

第千三百三十六號

明治四十四年十二月三十日

○告示

○和歌山縣告示第四百五十五號

種牡牛検査法第二條ニ依リ左記ノ種牡牛ニ証明書ヲ下付シタリ

明治四十四年十二月三十日

和歌山縣知事

川村竹治

種牡牛証明書
下付年月日

種類 年齡

毛色 高

所有者住所氏名

明治四十四年
十二月二十三日

ホルスタ
イン雜種

二歳 白黒班

四尺二寸

海草郡岡崎村大字中通
井邊清五郎

○和歌山縣告示第四百五十六號

左記ノ種牡牛ハ其ノ使用ヲ廢止シタリ

明治四十四年十二月三十日

和歌山縣知事

川村竹治

種牡牛使用
廢止年月日

種類 年齡

毛色 高

所有者住所氏名

明治四十四年
十二月九日

ブラウンス牛
ツス退却雜種

明治四十
年五月生

黒毛 四尺一寸五分

日高郡和田村二六一八
推崎安次郎

○和歌山縣告示第四百五十七號

左記ノ通り肥料検査官吏異動アリ

明治四十四年十二月三十日

和歌山縣知事

川村竹治

記

明治四十四年十二月二十三日和歌山縣技手大須賀良之助肥料検査官吏ヲ命ス

○通牒照會

○照會

勸第五二三五號一

明治四十四年十二月三十日

內務部長

相良 步

郡 市 長 殿

警察署長全分署長殿

町村役場御中

三重縣度會郡南海村大字相賀浦中村徳吉外五名ノ者本年十一月二十五日縣下東牟婁郡勝浦港出帆
鮪延繩漁業ニ從事中翌二十六日暴風雨ニ遭遇シ行衛不明ト相成百方挿索セシモ于今其ノ消息ヲ知
ル能ハサル趣ヲ以テ沿岸各町村ニ於テ左記物品ヲ發見シ又ハ拾得シタル者ノ有無取調方三重縣
リ照會有之候條御部内ニ於テ右發見又ハ拾得者有之候ハ、其ノ品目、數量、人名、發見又ハ拾得日
時等至急御回報相成度

記

度會郡南海村大字相賀浦百二十三番屋敷

中村 德吉 所有船

- 一 改良形飾釣「黒船」船
- 一 船名 相生丸
- 一 二本櫓 甲板付
- 一 長五間 巾八尺五寸
- 一 船具 悉皆付屬ス
- 一 漁具 飾延繩二十五籠
- 一 乗組人員

南海村大字相賀浦

船頭	新谷 佐助	明治四年生
水夫	中村 德吉	全十五年生
	新谷 虎吉	全十一年生
	新谷 惣五郎	全二十五年生
	新谷 勘次郎	全二十七年生
	竹内 傳助	全二十五年生

一 櫓又ハ船ノ附屬品其他木製品
 一 飾延繩ノ目標旗ニ相生丸又ハ中村德吉船トアリ



一ノ焼印アリ

以上

○ 辭 令

○明治四十四年十二月二十七日

月俸拾八圓ヲ給ス
月俸拾參圓ヲ給ス

測候所書記

服部英傳

○明治四十四年十二月三十一日

和歌山縣農業技手ニ任ス

測候所雇

赤井繁文

月俸拾六圓ヲ給ス内務部勸業課勤務ヲ命ス

崎山信吉

和歌山縣立田邊中學校助教諭心得ヲ命ス

諸岡 眞

月俸貳拾五圓ヲ給ス

○ 彙 報

○休職滿期 休職事務官脇田琥一ハ本月二十六日ヲ以テ滿期トナレリ

町村吏員ノ異動

○明治四十四年十二月二十七日認可

那賀郡田中村有給助役

宮本政楠

西牟婁郡栗栖川有給村長

可野 猶藏

東牟婁郡下里村助役

小谷七太郎

○ 観 象

自十二月廿五日至十二月廿七日氣象 (和歌山測候所觀測)

種 目	十二月廿五日		十二月廿六日		十二月廿七日	
	前 年	本 年	前 年	本 年	前 年	本 年
平均氣壓	七六四・二	七六四・九	七六一・七	七六一・八	七六五・一	七六六・〇
平均氣溫	三度九	五度六	五度三	九度七	六度九	七度二
最高氣溫	九度四	九度四	一〇度三	一三度一	一三度四	一〇度五
最低氣溫	冰点下〇度三	一度九	一度九	六度六	〇度三	四度八
最多風向	北西	北東	北西	西北西	〇度三	西北西
平均風力	二米三	二米四	三米三	三米九	四米二	四米八
天 氣	中晴	曇后雨	曇	晴	晴	晴
降水量	〇・二	一二・〇	〇・〇	五・七	一	一
記事雜象	曉間結霜及月暈ヲ映ス夜間微雨	午后降雨風雨強カル可シ夕刻縣下全部ヲ警戒ス	早朝微雨	曉間降雨午前十一時縣下全部ノ警戒ヲ解ク	曉間結霜午后雨々西ノ強風吹ク	

明治四十四年十一月二十九日印刷
明治四十四年十一月三十日發行
(毎月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日發行)

和歌山縣知事



印刷所 和歌山市北休賀町六番地 宗七
印刷所 和歌山市北休賀町六番地 宗七